

『スマート通勤おかやま2014』実施結果 (11月1日～12月31日 2ヶ月間)

1. スマート通勤おかやま2014アワード

今年度で8回目を迎えた「スマート通勤おかやま」。今回も大変多くの方々にご参加いただきました。実施結果の様々なランキングから、特に貢献していただいた団体を表彰させていただきます。

★スマート通勤おかやま2014大賞



医療法人誠和会 倉敷記念病院

※各種ランキングから総合的に判断して決定させていただきました。

●スマートチーム賞

参加者数が多い事業所

第1位	医療法人誠和会倉敷記念病院	427人
第2位	社会医療法人 光生病院	323人
第3位	社会福祉法人 旭川荘	203人
第4位	岡山ガス株式会社	158人
第5位	シャープタカヤ電子工業株式会社	82人

●スマート継続賞

一人当たりの参加日数が多い事業所

第1位	両備教育センター	32.6日
第2位	両備バスカンパニー	30.8日
第3位	株式会社岡山情報処理センター	24.1日
第4位	公協グループ	24.0日
第5位	中電プラント株式会社岡山支社	21.5日

●地球にエコで賞

C02排出の削減量が多い事業所

第1位	社会医療法人 光生病院	約2.43t
第2位	医療法人誠和会倉敷記念病院	約1.94t
第3位	岡山ガス株式会社	約1.78t
第4位	両備教育センター	約1.75t
第5位	社会福祉法人 旭川荘	約1.65t

●カラダにエコで賞

体内消費カロリー増加量が多い事業所

第1位	社会医療法人 光生病院	約4.5万kcal
第2位	社会福祉法人 旭川荘	約3.4万kcal
第3位	医療法人誠和会倉敷記念病院	約3.0万kcal
第4位	両備教育センター	約3.0万kcal
第5位	岡山ガス株式会社	約2.8万kcal

●地球にエコで賞(一人当たり部門賞)

一人当たりのC02排出削減量が多い事業所

第1位	両備教育センター	約250.1kg
第2位	株式会社岡山情報処理センター	約153.6kg
第3位	公協グループ	約90.7kg
第4位	中国電力株式会社岡山支社	約68.6kg
第5位	両備バスカンパニー	約68.3kg

●カラダにエコで賞(一人当たり部門賞)

一人当たりの体内消費カロリー増加量が多い事業所

第1位	両備教育センター	約4263kcal
第2位	両備バスカンパニー	約2552kcal
第3位	株式会社ビルドエイト	約2155kcal
第4位	株式会社岡山情報処理センター	約1661kcal
第5位	アサゴエ工業株式会社	約1481kcal

※一人当たり部門賞は参加者数が2名以上の事業所でのランキングです。

●スマート新人賞

初参加事業所の中で、特に貢献していただいた事業所



高雄工業株式会社 岡山工場

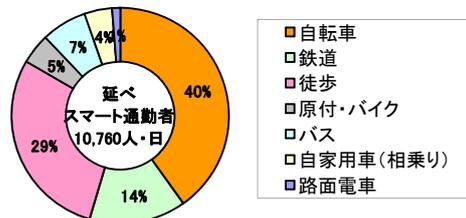
※ランキングには、スマート通勤おかやま実施事務局（岡山市、岡山県、倉敷市、国土交通省岡山国道事務所）や公表不可とご回答いただいた事業所は含まれておりません。

2. 参加状況及び CO₂・体内消費カロリー・ガソリンの削減(増加)量と削減(増加)率

●参加状況

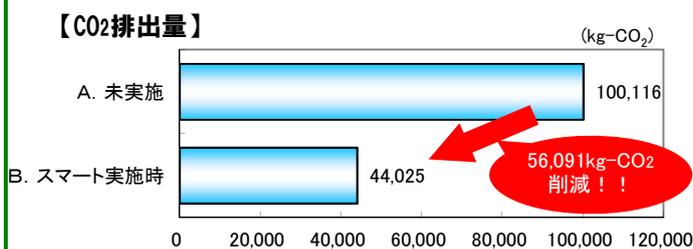
参加事業所数	108事業所
個人参加者数	41人
総参加者数	2,657人
述べ参加者数	17,234人・日
普段からスマート通勤をされている方	1,101人

●スマート通勤時の通勤手段



スマート通勤時の通勤手段は、自転車が40%を占めています。

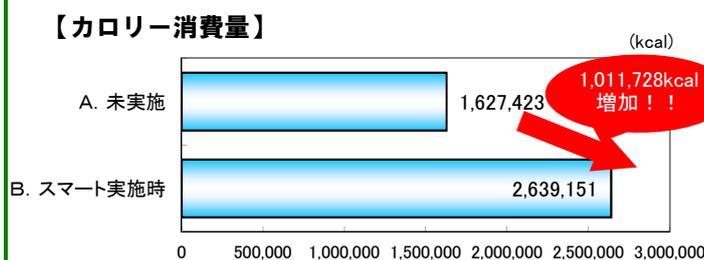
●スマート通勤期間中の「CO₂」削減量と削減率（参加者2,657人の結果）



C. 削減量 (A-B)	56,091 kg-CO ₂
D. 削減率 (C/A)	56.0 %

約56.1t-CO₂は、約4,007本のスギの木が1年間に吸収するCO₂量に相当するものです。

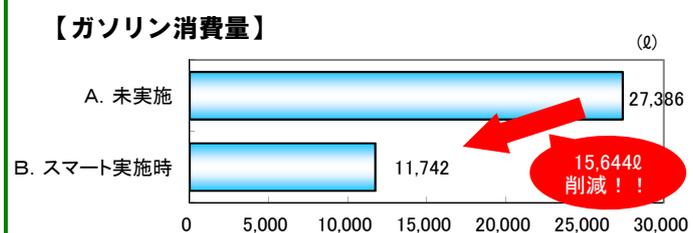
●スマート通勤期間中の通勤時の「体内消費カロリー」増加量と増加率（参加者2,657人の結果）



C. 増加量 (B-A)	1,011,728 kcal
D. 増加率 (C/A)	62.2 %

一人当たり平均増加量約381kcal（ショートケーキ約1.3個分）は、ジョギングを約46分間実施した場合の消費カロリーに相当するものです。

●スマート通勤期間中の「ガソリン」削減量と削減率（参加者2,657人の結果）



C. 削減量 (A-B)	15,644 L
D. 削減率 (C/A)	57.1 %

一人当たり平均削減量約5.9Lは、165円/Lとすると、約970円の節約になります。

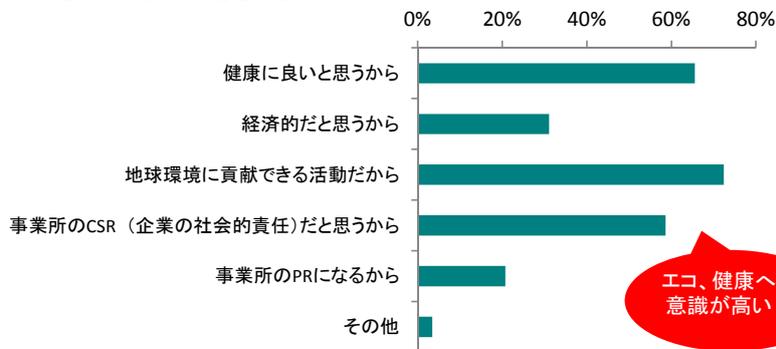
備考) 「A. 未実施」は、参加者のみなさまがスマート通勤をされない場合の数値です。
 「B. スマート実施時」は、参加者のみなさまがスマート通勤をされた場合の数値です。
 「C. 削減量」「D. 削減率」の結果は、AおよびBの各値の小数点以下の数値および結果数値の丸めにより誤差が生じる場合がございます。
 CO₂排出量：「国土交通白書」（国土交通省）
 （※スギの木は、樹齢50年程度のもので、1年間に約14kg（地球温暖化のための緑の吸収源対策：環境省林野庁）のCO₂を吸収するとして試算しています）
 カロリー消費：日本体育協会スポーツ科学委員会資料より、体重を20歳以上の平均59.4kgとして計算しています。
 燃料消費量：「自動車燃費一覧（平成26年3月）」（国土交通省）

3. 参加された方の声

取組に参加された方から色々な声が寄せられました。その一部をご紹介します！

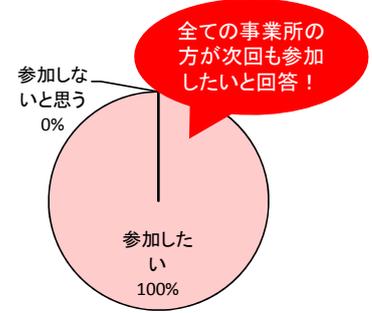
●事業所ご担当者様からの声

<本取組に参加された理由は？>



エコ、健康への意識が高い！

<次回も参加したいと思いますか？>

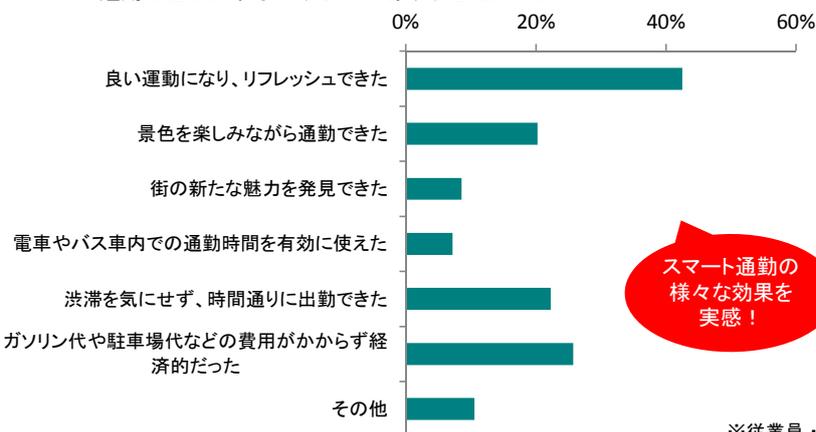


全ての事業所の方が次回も参加したいと回答！

※事業所アンケートより (N=29)

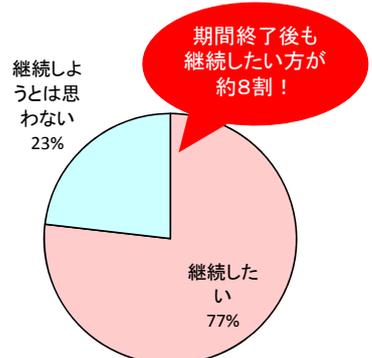
●従業員・個人で参加された方からの声

<スマート通勤でどのようなメリットがありましたか？>



スマート通勤の様々な効果を実感！

<期間後も継続したいと思いますか？>



期間終了後も継続したい方が約8割！

※従業員・個人アンケートより (N=1,006)

●主なご意見・感想

【スマート通勤に参加して良かったこと】

- 歩く楽しさが発見できた。
- 健康(運動不足解消)について考える機会になりました。
- 家を出る時間を少し変えることで通勤時間が変化した
- 普段と変わらないが、エコについて考えた
- 日頃の通勤方法を改める良い機会になった。
- 参加して楽しかったです。遠方からの通勤なので、毎日となると実行できませんが、スマート通勤の意義を意識して個人的にもできる限り取り組んでいければと思っています。
- 家族間の会話が増えた。
- 自家用車の相乗りを行い楽しい時間を過ごせた。
- 環境に良い運動を引き続き行きたい。
- 健康のために続けたいと思います。
- これを機会になるべく自転車通勤をしたいと思います。
- 恒久的なスマート通勤の実現をお願いします。
- 非常に良い試みであり、効果がみられることが励みになりました。
- とても良い試みだと思います。今回はとても残念な結果でしたが次回リベンジをと考えています。

【スマート通勤を続ける上での問題・改善点】

- 公共の交通機関を利用して出勤にも限度があるので難しいという声もあったので、もっと利用しやすい環境になっただけなのに、と思えた。自転車で通勤するのもすてきな、と思ったり考える機会にはなりました。
- 交通機関等、交通網をもっと充実させる必要がある。
- 車から自転車通勤にした時、一番に思ったのが、自転車道の確保が出来ていないので、トラックなどがすぐ側を通り怖い思いをした。自転車道の整備をすれば、もっと自転車通勤の方が増えると思う。

